

## Ball People の想い ～子どもの一番近くにいる大人たちができること～

Ball People では、サッカー技術の上達や試合に勝つことを**第一の目的**としていません。とりわけ小学生年代においては、勝つこと、上達することが一番大事なのではなく、勝つために、上手くなるために、子どもたち自身が自発的に自分の力を精一杯出せるようになることや、仲間と協力出来るようになることが一番大事と考えています。大人は、そのための**最大限の手助け**をする。最大限の手助けとは、手取り足取り教えることではなく、一緒に楽しんだり、喜んだり、悩んだり、考えたり、時にはそっと見守ることだったり、時にはきつく叱ることであったり、多様な関わり方があります。大人たちのそういった愛情は、今すぐでなくとも、きっと必ず子どもたちに通じると信じています。Ball People の活動がそんな子育てのほんの一助となれば幸いです。

### 子ども

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる

殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることをおぼえる

笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる

皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主となる

しかし

激励を受けた子どもは、自信をおぼえる

寛容に出会った子どもは、許す心をおぼえる

友情を知る子どもは、親切をおぼえる

安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる

賞賛を受けた子どもは、自分を好きになる

優しく抱きしめられた子どもは、世界中の愛を感じることができる

「子どもが育つ魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルト